



夏野菜苗の植え付け



写真①



写真②

マルチは植え付け7～10日前に張って、地温上昇、雑草防止にも効果があります。



鉢土の上にわずかに土がかかり、カブ元が少し盛り上がる程度に植えましょう。

★定植後、寒さが予想される場合は、ホットキャップ(写真①)、ビニール等で被覆・保温しましょう(写真②)。

★ポット苗での管理は、日中は軒下等半日陰に置き、土の表面が乾いたら午前中に水やりをし、夜間は倉庫等で保管し、寒さが予想される場合はビニール等で被覆・保温しましょう。

★定植前は外気温に慣らしてから定植しましょう。

★特に気温の低い日が予想される場合はできるだけ定植を遅らせてください。

★定植前は外気温に慣らしてから定植しましょう。

★特に気温の低い日が予想される場合はできるだけ定植を遅らせてください。

★定植前は外気温に慣らしてから定植しましょう。

1 植え付ける日の選び方

植える日はできるだけ風の無い、晴れた日に植え付けましょう。

2 植え付けのポイント

前日の午前中に苗に十分水をやり、苗を取りやすくしておきましょう。苗はできるだけ根を痛めないようにし、植穴を適当な深さに調整してから植え付けます。植え付け後は根を活着させるためしっかり水をやりましょう。

マルチ資材は目的によって種類や色を選びましょう。



マルチシートの種類と使い分け

厚さ0.022～0.03mmほどのプラスチックフィルムで畑の畝を覆うことにより、防虫・防草効果を高められ、作業の負担を減らすことができます。しかし、これらは畝に対してきちんと張れていることが前提となります。風でめくれてしまった場合や、きちんと畝を覆い切れていない場合は十分な効果が期待できませんので注意しましょう。

黒

シートが直接日光からの熱を吸収し、光を通さないため雑草防除する効果を持ちます。また、地温上昇を防ぐことから植え付けの可能期間を延ばすことができるなど、汎用性が高いのも特徴です。一方、真夏は黒マルチ自体の温度も非常に高くなりますので、葉焼けなど起こす場合があります。



シルバー

アブラムシやアザミウマ等は日光により平衡感覚を保つため、下から反射した光を日光と勘違いし、混乱させることで、防虫効果を発揮します。地温を保つ効果もあるため必要以上に地温上昇させたくない際にも有効に活用できます。



透明

地温上昇が最も高くなります。透明で光を通すため、雑草は生えます。冬場に土壌の凍結を防止したり、春先、秋に作物を育てるのには少し温度が低い際に用いたりビニールハウスと似たような目的で使用します。

